

EasyBlocks

Webキャッシング向け Proxyモデル ユーザーズガイド



本紙対象型番：EBX3/PROXY, EBAX/PROXY-ST, EBAX/PROXY-E/5Y

Ver1.2.0

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

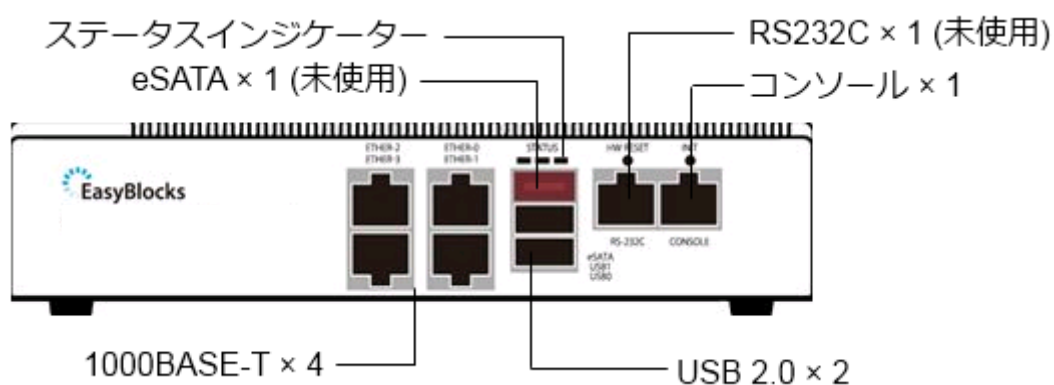
第1章 はじめに	4
1-1. 各部の名称	4
1-2. INIT スイッチの操作	6
1-3. 出荷時設定情報	7
第2章 設置・初期設定	8
2-1. 設定に必要な情報の確認	8
2-2. 設置方法	9
2-3. 管理インタフェースへの接続	9
2-4. 初期設定	10
第3章 管理インタフェース	14
3-1. システム	15
3-2. ネットワーク	17
3-3. メンテナンス	19
3-4. Proxy サービスの設定	21

第1章 はじめに

1-1. 各部の名称

型番：EBX3/PROXY

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



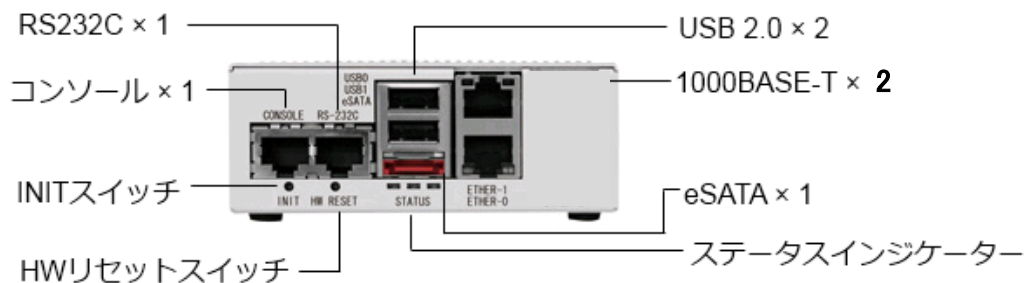
ケーブルクランプの取り付け

AC-IN 下の穴に添付のクランプを差し込みます

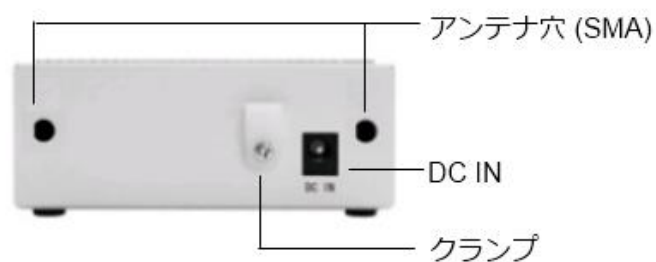


型番：EBAX/PROXY-ST, EBAX/PROXY-E/5Y

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



◆ ステータスインジケータの点灯について (共通)

停止中：

全て消灯しています

稼働中：

黄→緑→赤→緑→黄・・・のように、上下に点灯・消灯を繰り返します
負荷が高くなるにつれて、3段階で速度が変化します

停止後(シャットダウン処理後)：

黄・緑・赤の3色が、全て同時に点滅を繰り返します

1-2. INIT スイッチの操作

INIT スイッチの操作により、初期設定状態での起動、停止・再起動の実行が可能です。

初期設定状態での起動

本体 INIT スイッチを押しながら(5 秒程度)電源 ON する

起動時からの再起動

INIT スイッチを 0~4 秒間(2 秒までは黄色点灯、4 秒までは緑色点灯となります)
押し続けた後に、スイッチを解放すると再起動処理が開始されます。

起動時からの停止

INIT スイッチを 5 秒以上(赤色点灯となります)押し続けた後に、スイッチを解放すると停止処理が開始されます。停止完了後は、LED 全色が同時に点滅します。

1-3. 出荷時設定情報

■ IP アドレス

		EBX3/PROXY	EBAX/PROXY-ST EBAX/PROXY-E/5Y
Ether-0	IP アドレス :	192.168.254.254	192.168.254.254
	ネットマスク :	255.255.255.0	255.255.255.0
Ether-1	IP アドレス :	未設定	未設定
	ネットマスク :	未設定	未設定
Ether-2	IP アドレス :	未設定	I/F なし
	ネットマスク :	未設定	
Ether-3	IP アドレス :	未設定	
	ネットマスク :	未設定	

■ WEB I/F のアドレス

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

■ WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

第 2 章 設置・初期設定

2-1. 設定に必要な情報の確認

必須項目

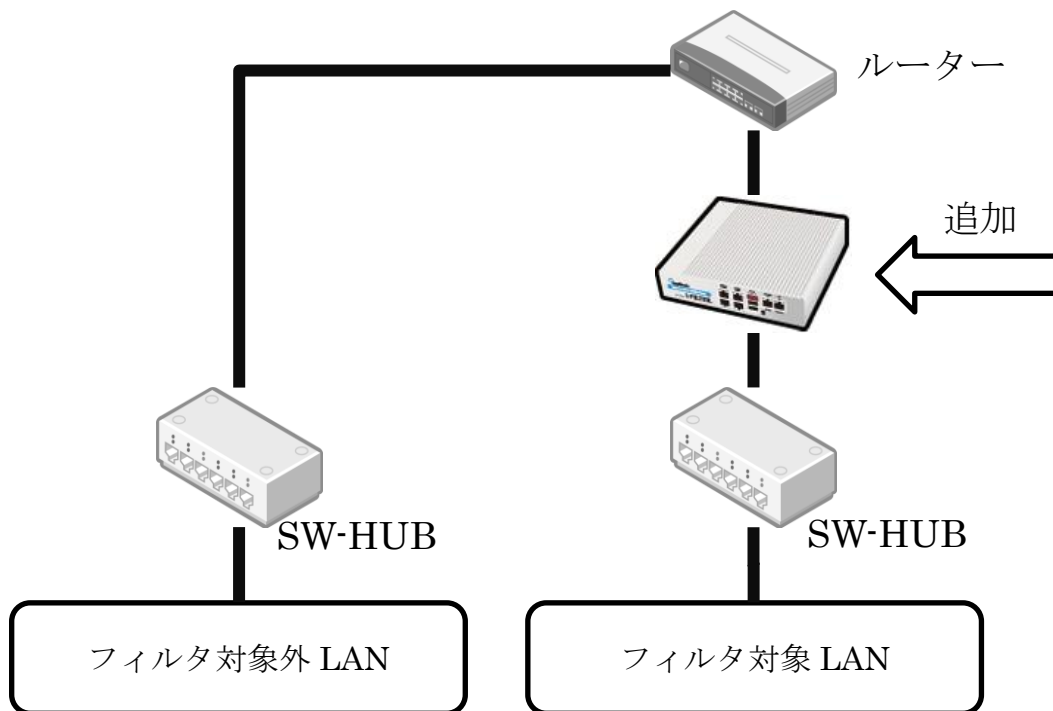
- ネットワーク
 - 設置構成 (Proxy 型または Bridge 型)
 - Ether-0 の IP アドレス/ネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ
 - DNS サーバー
- Proxy サービス
 - ポート番号
 - 管理者メールアドレス
 - FTP 接続用パスワード(管理者メールアドレスと同じでも良い)

任意項目

- システム
 - NTP サーバー
- ネットワーク
 - Ether-1/2/3 の IP アドレス/ネットマスク
 - 静的ルーティング
- Proxy サービス
 - 上位 Proxy の IP アドレス及びポート番号(必要な場合は ICP ポート番号も)
 - ログを転送する場合の Syslog サーバー及びファシリティ(LOCAL0~7)
 - アクセス制限をかける場合の許可ネットワークの範囲

2-2. 設置方法

以下の図は、既存 LAN への本製品の追加例を図に表したものです。本製品の2つのネットワークポートを活用し、一方をルーター、もう一方を生徒用ネットワークに接続します。このような形態を取ることで、全ての通信が本製品を通ることになり、フィルタリングとキャッシュが最大限活かされます。



図： 既存 LAN への追加例

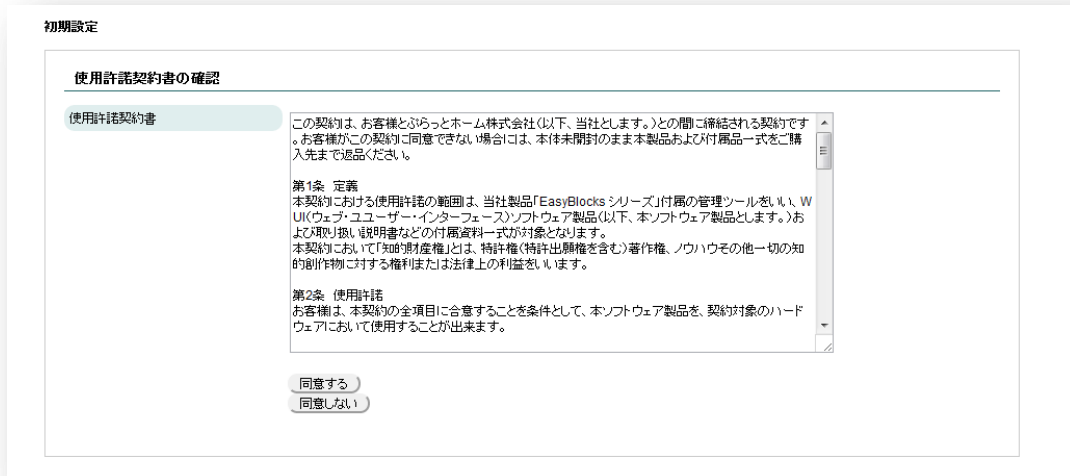
2-3. 管理インターフェースへの接続

初期設定は、設定用 PC との 1 対 1 のクロスケーブル接続を推奨します。1-2. 出荷時設定情報に記載の IP アドレスに合わせて、設定用 PC の IP アドレスを重複のないように変更して下さい(192.168.254.10 や 11 等、0/254/255 以外)。その後、次の URL を開くことで、設定を開始できます。

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

2-4. 初期設定

管理インターフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。



使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

サポートデスク

アカウント ID: パスワード:

上位Proxy

IPアドレス:ポート:ICPポート ::

操作

ユーザー名:	管理インタフェースへのログインに使用します アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます
パスワード:	同用途のパスワードです
パスワード(確認):	//
サポートデスク:	サポートデスク加入者に発行されるアカウント アップデートは、このアカウントが有効な場合のみダウンロード可
上位 Proxy:	転送先の上位 Proxy がある場合に入力します

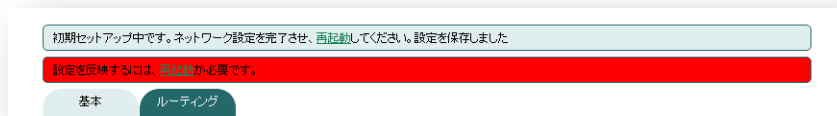
これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

ホスト名 (O)
 ドメイン名 (O)
 デフォルトゲートウェイ (O)
 DNSサーバー1
 DNSサーバー2
 DNSサーバー3
設置
 設置構成 Proxy型 (O) Bridge(透過)型 (O)
サービスネットワーク (Ether-0)
 IPアドレス (O)
サービスネットワーク (Ether-1)
 使用する はい いいえ



ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
設置構成 :	Proxy 型 又は Bridge(透過)型 を選択する
Proxy 型	
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス (使用は選択)
Bridge(透過)型	
Bridge IP アドレス :	Bridge に割り当てる IP アドレス Ether-0 及び 1 をネットワークの上流・下流に接続します
共通	
Ether-2 IP アドレス :	同上 (※小規模版では存在しない)
Ether-3 IP アドレス :	同上 (※小規模版では存在しない)

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。
リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。



再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。

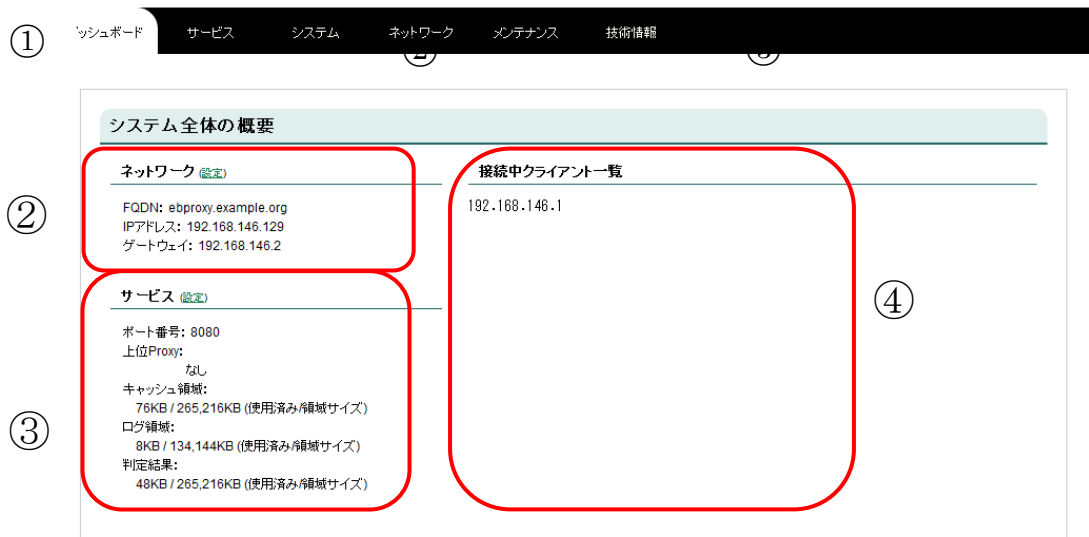


再起動が完了すると、上記画面に移動します。
以降は目的に応じて、サービスの設定を実施してください。

第3章 管理インターフェース

管理インターフェースの基本的な画面構造について解説します。

■ ダッシュボード



① メニュータブ

白抜きの部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

サービス：Proxy サービスの設定

システム：NTP や管理者ユーザーの設定等

ネットワーク：ネットワーク設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

② ネットワークの設定を表示

③ Proxy サービスの設定を表示

④ 接続中のクライアント IP を表示

3-1. システム

■ 基本

時刻設定 (?)

PCと時刻を同期 (?) 2012/02/27 15:22:06 同期

ntpサーバー1 (?) オプション (prefer maxpoll 10) (?)

ntpサーバー2 オプション

ntpサーバー3 オプション

操作

保存

◆時刻設定

PC と時刻を同期 :	操作用 PC の時刻情報を装置におくり反映させます
NTP サーバー :	3 台まで設定可能

■ 詳細

リポジトリ情報 (?)

サポートデスクアカウント (?) アカウント: xxxxxxxxxxxx パスワード: xxxxxxxx

操作

保存

◆リポジトリ情報

サポートデスクアカウント :	アップデートのダウンロードの歳に必要となります
----------------	-------------------------

■ WEB 管理者

追加・変更

ユーザー名

パスワード

権限 全体 参照のみ

操作

一覧

ユーザー名	権限	操作
admin	全体	編集 / 削除

ユーザー名 :	管理インターフェースのためのユーザーアカウントです
パスワード :	同上
権限 :	すべての設定変更が可能な「全権」、参照のみ可能な「参照のみ」があります。

■ マイページ

登録情報の編集

ユーザー名

パスワード

操作

ユーザー名 :	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません
パスワード :	変更する場合のみ入力してください

3-2. ネットワーク

■ 基本

ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
設置構成 :	Proxy 型 又は Bridge(透過)型 を選択する
Proxy 型	
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス (使用は選択)
Bridge(透過)型	
Bridge IP アドレス :	Bridge に割り当てる IP アドレス Ether-0 及び 1 をネットワークの上流・下流に接続します
共通	
Ether-2 IP アドレス :	同上 (※小規模版では存在しない)
Ether-3 IP アドレス :	同上 (※小規模版では存在しない)

■ ルーティング

基本 ルーティング

静的ルーティングが必要な場合は、ここで設定を行います。

ターゲットとゲートウェイ

ネットワークアドレス

ゲートウェイ

操作

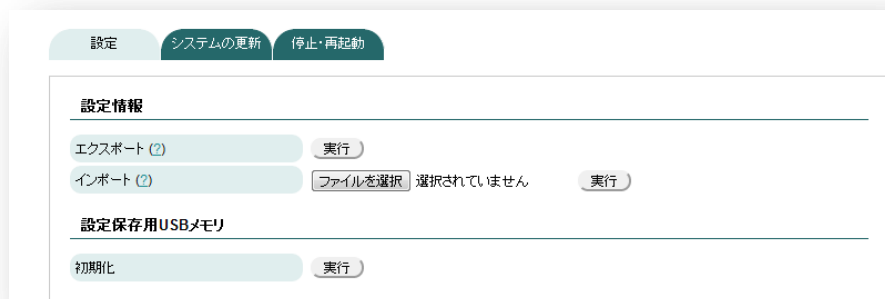
一覧

ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作
------------	--------	--------	----

ネットワークアドレス：	当て先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します
ゲートウェイ：	利用するゲートウェイのアドレスを入力します

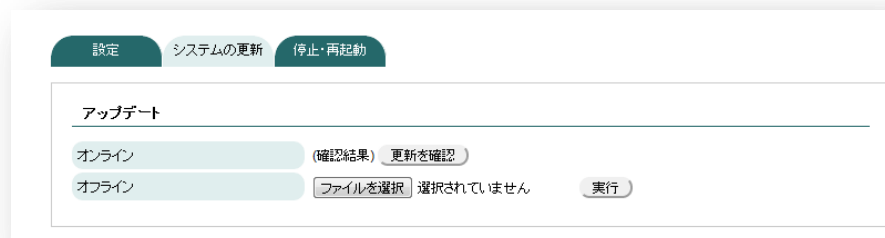
3-3. メンテナンス

■ 設定



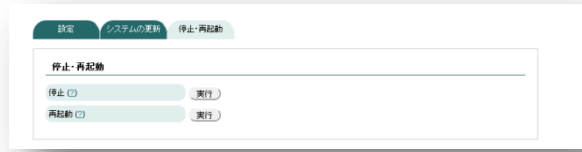
設定情報エクスポート：	EasyBlocks 全体の設定をエクスポート
設定情報インポート：	// をインポート
設定保存 USB メモリ初期化：	添付の USB メモリを初めて利用するときに行います ボリュームラベル「EB_CONFIG」を指定し、FAT でフォーマットを行います。

■ システムの更新



オンライン：	「更新を確認」で最新バージョンの有無を確認し、アップデートがある場合は、更新ボタンが表示されます。
オフライン：	WEB サイトからダウンロードした、アップデートを使用して更新を実行します。

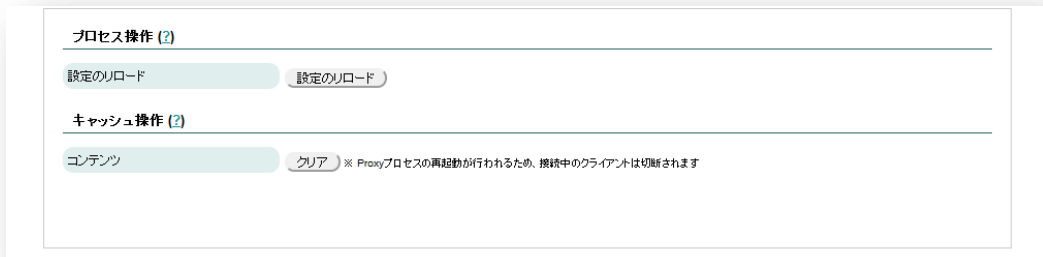
■ 停止・再起動



停止：	停止します
再起動：	再起動します

3-4. Proxy サービスの設定

■ プロセス



◆ プロセス操作

設定のリロード :	稼働中のプログラムを停止すること無く、設定のリロードを行います。
-----------	----------------------------------

◆ キャッシュ操作

コンテンツ :	コンテンツキャッシュのクリアを実行 プロセスの再起動が発生するため、接続中のクライアントは切断されます
---------	--

■ 基本

基本設定

ポート番号

管理者メールアドレス

FTP用パスワード

キャッシュ する しない

ログ

ファシリティ(アクセスログ)

転送 する しない

上位プロキシ

上位転送 する しない

アクセス制御

許可するProxyクライアント 指定 どこからでも可

Proxyを介さないネットワーク 指定 なし

操作

◆ 基本設定

ポート番号 :	Proxy として接続を待ち受けるポート番号
管理者メールアドレス :	エラー時などに画面表示する管理者の連絡先
FTP パスワード :	匿名 FTP サーバーへの接続時に使用するパスワード 管理者のメールアドレス等を指定する

◆ ログ転送

ファシリティ(アクセスログ) :	ログを保存するファシリティ LOCAL0~7
Syslog サーバー :	転送先の IP アドレスまたはホスト名 (転送する場合のみ)

◆ 上位プロキシ (必要な場合のみ)

IP アドレス :	上位プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名
ポート番号 :	// のポート番号
ICP ポート番号 :	必要な場合に指定する。使用しない場合は 0 を入力する。

※ 複数指定した場合は、上から順に接続を試みることで冗長構成となります。

◆ アクセス制御

許可する Proxy クライアント :	「どこからでも可」「指定」を選択可能
Proxy を介さないネットワーク :	「どこからでも可」「指定」を選択可能

■ ログ表示



◆ 表示

選択 :	表示可能なログファイルをプルダウンで選択します
自動更新 :	一定間隔で表示内容の更新を行います
停止 :	自動更新を停止します
再ロード :	表示中のログを再表示します
ダウンロード :	表示中のログをダウンロードします

■ PAC (Proxy auto-config)



◆ 表示

PAC URL :	自動設定スクリプトを配信するための URL DHCP サーバーやブラウザに指定する URL として利用出来ます。
PAC スクリプト :	スクリプトを直接記述します <pre> function FindProxyForURL(url, host) { var proxy = 'PROXY proxy.example.jp:8080'; ~ 省略 ~ return proxy; } </pre>

2013年7月

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

EasyBlocks ユーザーズガイド

ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F